

世界の鉱物採掘現場で起きている 環境破壊を軽減するための 現地取材・国内企業の環境配慮行動調査 ならびに普及啓発活動

〒101-0063
東京都千代田区
神田淡路町1-7-11 3F
電話:03-5209-3455
E-mail:office@parc-jp.org
http://parc-jp.org



ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発



鉱山開発サイトへの入口

公開質問状送付企業数	146社
ワークショップ参加人数	470人
今年度計画の達成度	100%
活動の全体目標に対する達成度	20%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

現地調査にあたり、現場への立ち入りの可否が直前までわからないなど、状況が流動的に調査を実施できない可能性があった。

■ 工夫した点

地域住民に協力をもとめ、現場に同行してもらうなどし、鉱山開発サイトへの立ち入り許可をとりつめた。



課題

世界中で、環境配慮が不十分なまま鉱山開発が行われている事例が後を絶たないが、その鉱物を使う日本の市民や企業はその現実十分に目を向けていない。

目標

①希少生態系への影響が懸念される鉱山開発現場の現状把握。②日本企業の鉱物調達における環境への配慮行動の把握。③採掘現場における環境問題の市民への啓発。

活動内容と成果

2017年9月、2018年3月にエクアドルの開発現場で水質調査を実施。ヒ素を含む重大な水質汚染が確認された。

NGOネットワーク「エシカルケータイキャンペーン」の協力のもと、鉱物を

扱う日本企業146社に公開質問状を送付。36社から、問題事例に関する対応方針等について回答を得た。

「スマホの真実」上映会・ワークショップを8ヶ所(東京3、地方5)で実施。計470人に対して啓発活動を行った。

2017年11月、2018年3月にフィリピンで鉱山開発問題に関する国際会議に参加し国際情勢を把握した。



公開質問状の結果報告セミナー

今後の展望

エクアドルの現場では開発が急ピッチで進められており、水質汚染などが悪化する可能性が高い。現地調査を続け現場の状況を把握するとともに日本の企業・市民への啓発を続け行動変革を促したい。